

(1) 従業員による森林保全活動「阪急阪神不動産の森」

兵庫県、神戸市、兵庫県緑化推進委員会と協定を締結し、従業員が主体的に森林保全活動（間伐や植樹など）を実施しています。従業員一人ひとりが現場で汗を流すことで、森林が抱える問題と向き合い、環境意識の向上を図ります。

【活動場所】 キーナの森（神戸市北区山田町藍那）

※「キーナの森」の一部は「阪急阪神不動産の森」と名付けて森林保全活動をはじめています。

【活動期間】 2023年7月3日～2028年7月2日（5年間）

【活動面積】 約2.6ha



※阪急阪神不動産の森林保全活動「阪急阪神不動産の森」に関しましては、これまでに次の2件のニュースリリースを発出していますので、あわせてご覧ください。

◆2023年6月29日付 「企業の森づくり活動への取組に関する協定」を7月3日に締結します
https://www.hhp.co.jp/news/docs/2_4863bf2gul8ggs840kokcc8oc.pdf

◆2023年11月2日付 2023年10月30日、「阪急阪神不動産の森」の森開きを実施しました
<https://www.hhp.co.jp/news/docs/eb231e858e34c612da5bc2714886ac2587a76894.pdf>

(2) お客様・入居者様への環境意識の啓発

マンションブランド〈ジオ〉のお客様や入居者様にも、森林保全への意識を高めていただく取組を進めています。

- ・マンション共用部に間伐材を活用した家具を設置しデザイン性と環境配慮の両立を図りました。



「ブックラウンジ」（ジオ明石本町）

- ・間伐材で製作したオリジナルデザインのグッズをノベルティとして配付しました。



「ティッシュボックス」



「ボールペン」

(3) 本社の六甲山間伐材を利用した五感で六甲山を感じる展示スペースの設置

「森近感」の活動の価値を社内外へ広く訴求するため、本社オフィスの一角を改装して、木材利用の展示スペースにしました。間伐した六甲山材で従業員が手作りした家具（打合せ用テーブル、ベンチ）に加え、六甲山で採取した、様々な時間帯の「六甲山の自然音」や間伐材由来の「アロマ」を導入。「五感で六甲山を感じる空間」を創出し、取組の意義などを紹介するパネル展示を行うことで森林保全の重要性を直感的に伝える場にしました。今後は、マンション共用部への自然音採用も計画しており、「森近感」プロジェクトの本格始動を機に、人から人へ環境意識を波及させる取組を順次展開していきます。



本社オフィスの一角に設けた
「森近感」の展示スペース



家具製作の様子



六甲山での音源採取の様子

以 上